

2009年回顧と2010年展望 業種別部会長シンポジウム

ブラジル日本商工会議所

食品部会

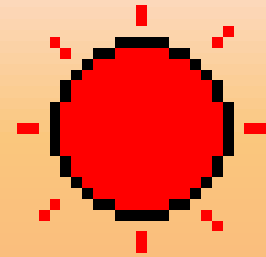
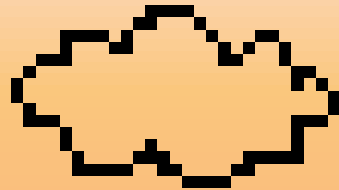
2010年2月9日(火)

総観

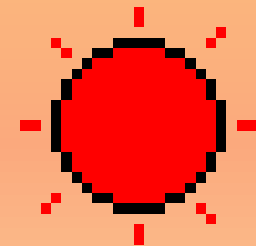
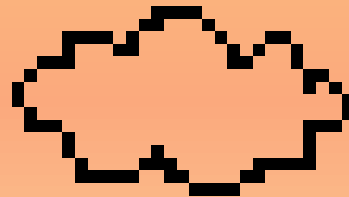
09年

10年

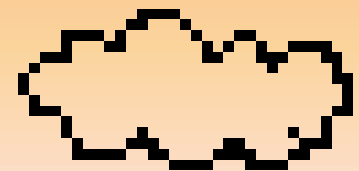
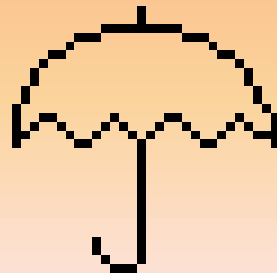
小売



外食・業務用



輸出



全体まとめ

09年回顧

- 小売は前半で出遅れたものの年度トータルでは堅調
- 外食・業務用は年度後半で急回復。国内市場は堅調なるも輸出は不振
- 原材料価格高騰から安定化へ。競合激化による価格転嫁困難
- 輸出税還付問題とST税制
- 新型インフルエンザ
- 低所得者向け市場好調

10年展望

- 小売は楽観的、外食・業務用も好転期待
- 国内市場は楽観傾向だが輸出は不透明
- 為替動向への不安、一部原材料コストアップ予想とコスト削減努力
- 税制(ST)の全国への拡大影響
- 消費者ニーズを反映した商品開発(付加価値・天然・低所得層向など)
- 周辺諸国への輸出

シンポジウム副題:「景気回復は本物か？ 死角は？大統領・知事選挙の影響は？」

楽観



やや楽観



不明・不安



やや悲観



6社

シンポジウム副題:「景気回復は本物か？
死角は？大統領・知事選挙の影響は？」

為替変動

⇒国内物価、輸出入製品原材料

政権交代シナリオ、財政悪化

⇒低所得層への影響

乳酸飲料

09年回顧

- 安定成長
（前年同期比+7%）
- 常温流通製品の伸長
- 厳しい競合環境下で
訪問販売の強み

10年展望

- 最低5%成長の確保
を予想
- 製造原価、管理費用
アップ分のコスト吸収
が課題
- 製品価格転嫁見込む

国内家庭用食品

09年回顧

- 対前年比+9%と年度計では順調
- 調味料・粉飲料類好調
- 高価格帯製品への需要シフト
- 南米周辺国とアフリカ市場の開拓
- 外食チャネル強化

10年展望

- 前年比2桁成長に挑戦
- 競合の激化
- コストダウン取り組み
- 南米周辺国とアフリカ市場開拓推進
- 消費者コミュニケーション強化

加工用食品、飼料

09年回顧

- レアル高による輸出採算性悪化
- 原材料価格(粗糖)高騰
- 農産物高騰による添加物市況の回復

10年展望

- 原材料(粗糖)値上り懸
- 農産物豊作による添加物市況悪化
- 適切な価格対応によるシェア獲得
- 食肉市況は回復傾向

輸入液体調味料

09年回顧

- 自社並行輸入品との競合
- プレミアム商品での差別化戦略で徐々に成果
- ブラジル人市場やフードサービスなど新チャネル開拓

10年展望

- 取り扱い店舗／企業数を上げる
- 焦点をしぼりニーズにあった製品群準備
- 露出度を意識したマーケティング施策を展開

食品添加物

09年回顧

- 日本向け輸出ではコストダウン用途の要請や価格対応要請が増え、採算性圧迫
- レアル為替高による採算性悪化
- 食品添加物ニーズが合成から天然着色料へ

10年展望

- ブラジル市場向け輸入販売に注力。
- 日本向けは現状維持
- 天然色素へのニーズ増大傾向／市場拡大傾向と許認可など輸入障壁等課題対応

即席麺

09年回顧

- 販売は約11%拡大
- インフ価格転嫁を最小限に留め市場の成長を優先
- 北東部、中西部のC層以下の市場が拡大
- 原料価格安定と採算安定
- 高付加価値育成商品の成長

10年展望

- 市場は北東部、中西部内陸が牽引し継続成長
- 中所得者層購買力維持
- 成長市場向け販促と成熟市場での高付加価値製品育成
- 輸入小麦供給不安とコストアップ懸念

コーヒー

09年回顧

- 輸出は経済危機でクレジット問題と在庫調整が影響発生し、契約キャンセルや出荷遅延が頻発
- 国内市場は堅調で昨年比2-3%プラスをキープ

10年展望

- 世界的需要は2-3%の安定成長見込み
- 10/11年度収穫期は昨年対比で豊作の見込み
- レアル為替高による採算性影響懸念

酒類

09年回顧

- 清酒類は新型インフルエンザによるレストラン市場縮小が影響するも、年度後半は急回復
- 輸入原料米の高騰が収益圧迫

10年展望

- SPで導入されたST*制（ICMS税先納付制）が全国に広がる観測で市場混乱を懸念
- 外資による清酒市場参入による市場環境変化を懸念

外食

09年回顧

- 経済危機の影響による年初不安から急激に市場が回復。ここ数年で最高の実績

10年展望

- 景気回復によるインフレ高揚を懸念。

食品素材輸出

09年回顧

- オレンジ、鶏肉、トウモロコシ、大豆など基礎素材中心に前年比横ばいの水準に回復
- 粗糖は相場高騰を受けて取引量減少傾向

10年展望

- 全体としては為替安定を前提に引続き対前年で横ばいを予想
- 大豆豊作予想により、輸出余力を中国向けに振り向け取引量大幅増を予想

商工会議所へのリクエスト

- 日本人出向者が少人数に限られている企業同士で生活、業務面での情報交換をしたい

以上